地域情報誌

和合

No.103
2015. 2. 20

題字：三浦修次

大中島ふれあい自然館

雪遊び in 森森

（ジュニアカレッジWAGO!! 1月17日㊏）

主な掲載記事

和合の里のお地蔵様……2
和合ってどんなところ……2
おっきぐなたの～……3
お肌の乾燥を防ぎましょう!!…4
私の健康……4
亀治からのメッセージ……5
よつばっこ通信……6
こうなってほしちゃ……6
健康レシピ……7
和合の交番……7
もっしぇけの……8・9
地域インフォメーション……10

和合の里のお地蔵様 シリーズ18

イラスト：工藤昭子

主殿新田編

〈語り〉 黒川健藏（けんぞう）さん・佐藤 勇（いさみ）さん

昭和27年、道路整備の工事中に黒川健藏氏宅敷地内より９体の地蔵尊が出土した。その地蔵尊はそのまま黒川家の敷地内に安置され、翌28年８月24日に地蔵様祭を行い、日々の安泰を祈願した。以来、毎年８月24日に地蔵様祭が行われている。現在は公民館を会場にビアガーデンも同時に開催し、住民みんなが集う賑やかな一日となっている。

地蔵尊が出土して63年。今も子どもが産まれると腹巻を着せ感謝と健やかな成長を願うお参りが続いている。

地蔵尊は県道の交差点に位置する。狭い道の割に交通量が多く、見通しが悪い交差点だが、地蔵尊の御守なのかここでの事故は一度もないという。

昨年には、県道の拡張工事を機に立派な御堂が住民の手によって建てられた。

県道交差点の 「お地蔵様」

～もう一つの地蔵尊の伝説～

今から160年位前、その地蔵尊は現在の四小バス車庫の辺りに位置していた。

当時は家々で多くの馬を飼っており朝夕馬の運動が若者によって行われていた。ところが、この地蔵尊付近まで走って行くと、必ずといっていいほど落馬して、ケガをすることがしばしばであった。村の人々は非常に不思議に思った。地蔵尊の怒りか何かによって事故が起きるのだろうと、主殿新田の墓地入口に移転させて安置した。その後というものは、落馬事故もなくなり大変安泰であったという。

参考：『郷土史考』
和合中学校創立十周年記念刊行

墓地入口の
「お地蔵様」

和合ってどんなところ

雨ニモ、風ニモ、冬ノ吹雪ニモマケナイ四小っ子

佐藤 智子（さとこ） 先生
（余目第四小学校）

今年度は、二学期の時点でかなりの積雪があり、子どもたちは休み時間ごとに元気に雪遊びを楽しんでいた。雪がわつわつと降ろうが、風がゴーゴー吹こうが、お構いなしといった感じだ。

また、よっぽどの天候でない限り、雨が降ろうが風が吹こうが子どもたちはちゃんと歩いて登下校している。高学年が下級生たちを気遣いながら、隊列をなして歩いている。歩きたくなくて、泣き言をいう子には、高学年が諭していることもある。

実にたくましいと感じる。雨ニモマケズ、風ニモマケズ冬ノ吹雪ニモマケナイ姿が。

それは、昔からこの辺りの厳しい自然条件の中で、田を耕し作物を作ってきたご先祖様たちのＤＮＡを、子どもたちがしっかり受け継いでいるからではないだろうか。

これからも、厳しい寒さに負けずに、たくさん遊んでしっかり歩く四小の子どもたちであってほしい。

Q1　名前の由来は？ 名付け親はどなたですか？

A 名前はママが付けました。蓮（はす）は７月の誕生花で、すくすく元気に育ってほしいと思い付けました。

Q2　蓮生くんが今一番興味をもっていることや、はまっている遊びは？

A お絵かき。ボードに絵を書くのが大好きです。

Q3　最近の記憶に残ったエピソードは？

A テレビから音楽が流れると歌ったり、足踏みや拍手をしたりします。

Q4　どんなお子さんに育ってほしいですか？

A いろんなことに興味を持ち、挑戦できる子。人の痛みがわかる子に育ってほしいです。

パパ・ママから蓮生くんへメッセージ

毎日、走りまわって元気に遊ぶ蓮生。
これからも、お兄ちゃんとたくさん
遊んでたくさん笑って大きくなってね。

工藤 蓮生（れん）くん

（赤渕新田）

平成25年7月26日生まれ

パパ：飛鳥（あすか） / ママ：優（ゆう）

おっきぐなたの～【パパ・ママにインタビュー】

Q1　名前の由来は？ 名付け親はどなたですか？

A 自ら発する天体である恒星という意味をもたせ、自らの道を自分の力で光らせるという願いと、「琥」は将軍のしるしという意味があり、強くたくましく育ってほしい願いを込めて、パパとママ２人で考えつけました。

Q2　琥聖くんがはまっている遊びは？

A アンパンマンの絵本が大好きで、毎日本を自分で持ってきて“アンパンマン”と言いながら見ています。

Q3　最近の記憶に残ったエピソードは？

A 歩くのも上手になり、保育園に迎えに行くと走って来て抱っこをせがみます。そして、嫌なものは嫌!! 好きなものは好き!! 喜怒哀楽をするようになってきました。みかんが大好きでみかんを置いておくと何個でも食べてしまいます。

Q4　どんなお子さんに育ってほしいですか？

A 誰にでもやさしく思いやりのある子に育ってほしいです。そして、名前の由来のように強くたくましく、のびのび育ってもらいたいです。

パパ・ママから琥聖くんへメッセージ

今はすぐ風邪をひく、ヤンチャなこうせい！
いっぱい食べて、いっぱい遊んで大きく育ってね。
これから、お兄ちゃんともケンカをするようになると思いますが、ケンカしても仲直りして仲良くしてください。いっぱい笑顔を見せて、みんなをHAPPYにさせてね♡

石川 琥聖（こうせい）くん

（主殿新田）

平成25年7月27日生まれ

パパ：雅浩（まさひろ） /ママ：祐（さち）

お肌の乾燥を防ぎましょう!!

冬になると、背中や膝回り、スネがかゆくなりませんか？

加齢に伴い、皮膚の保湿性は低下していきます。さらに冬の乾燥した空気の中で、肌の水分や皮脂が少なくなり、皮膚のバリア機能が低下します。

そのような肌にはかゆみの原因となる刺激物質が入り込みやすくなります。

【予防と対策】

①入浴の仕方を改善する

体を洗う時には石けんをよく泡立てて、手でなでるように洗います。ナイロンタオルなどでゴシゴシ洗うことはやめましょう。また熱いお湯の入浴はさけましょう。

②湯上り後すぐ保湿

お風呂上り15分以内に保湿クリームを塗りましょう。

③ビタミンＡを積極的に摂る

レバーや人参、カボチャなどに多く含まれる「ビタミンA」には肌を健やかに保ち、老化を遅らせる働きがあります。

高齢者の相談窓口（介護相談・心配事などお気軽にご相談ください）

●庄内町地域包括支援センター
TEL 45－1030（介護センターほほえみ内）

●庄内町地域包括 立川サブセンター
TEL 51－2505（庄内町役場立川庁舎内）

私の健康

“笑顔を忘れない”で元気に老いる!!

國井 敬子（けいこ）さん（返 吉）

目指す「元気で長寿」のために三つのことを気をつけています。

一つは「食」にあると思います。食べているから生きられる。野菜は、春夏秋冬、家のまわりの畑で虫も食べるほど美味しいものが取れます。赤や白黄と色々バランスよく種をまいたり植えたり、大きくなるのを楽しみにしながら育てます。

二つ目は、体を動かすことかな。家にいれば、それなりに動いていますが働くことと運動とは、違うと思います。友達に勧められて、ぽっぽの湯で行なわれている「スパ体操」に月２回通って７年になります。友達もできて次が待ち遠しいです。体が動く限り、自分のことは自分でできるように…と思っています。手足だけでなく、頭の体操も一緒です。これからは、脳が一番気になるところ。失敗しても喜び笑っています。

三つ目は、「仲間・友達」を多く持つこと。親睦を図りながら笑顔でいれば、病気も寄りつけないでしょう。

元気に老いるには“笑顔を忘れない!!”をモットーにして生きたいと思います。

亀治からのメッセージ

【亀ノ尾の里資料館】 企画展

《雛（ひな）人形展》

今年も色鮮やかなお雛さまが
和合の里に春を運びます

＊期　間：２月21日（土）～３月29日（日）
＊時　間：午前９時00分～午後９時00分
＊入館料：無　料
＊休館日：３月９日（月）

【道具図鑑】

●囲炉裏（いろり）

いろりは、床の一部を四角くあけて火をたいた場所。「居る」ということばが変化したもので「居る」場所、つまり、家の中心となる場所のことであり、煮炊きをしたり、暖房や照明にもなっていた。

■いろりのまわりの席順は厳格に決まっていた

横　座：家　長
かか座：主　婦
客　座：客・年寄り・長男
木　尻：子ども

●おはちえんちこ

おはちえんちこは、藁で編んだ蓋付きの入れ物で、冬場、※飯びつ（おはち）を中に入れて蓋をすると、しばらくはホカホカのご飯が食べられた。

庄内では、同じように藁で編んだ赤ちゃんを入れる籠のことも「えんちこ」という。

※飯びつ（おはち）
釜で炊いたご飯を食卓に持って行くために使った容器

亀治の目

もうすぐ雛まつり。資料館には、色とりどりの鵜渡川原人形が並ぶ。庄内に来て嫁ぎ先で見たお雛さまは、手づくりの雛壇の一番上にお内裏さまとお雛さま、二段目に五人囃子がいるものの兵隊さんやら、金太郎やら、お相撲さんなどが飾られていて「これがお雛さま？」と不思議に思った。今まで見てきたお雛さまとは、まるで違う素朴な土人形。息子が生まれた時にも新しい人形を買ってもらい、子どもが生まれると一つずつ買い足していくのだと教えてもらった。資料館に寄贈された人形にも購入した日や名前が書かれているものもあり、大切に受け継がれてきたのだと感じる。現在は、鵜渡川原人形の作り手がいなくなり、新しく購入するのは困難になった。この素朴で愛らしい雛の文化を大切にしていきたい。

第四幼稚園

よつばっこ通信

せんせい、あのね！

幼稚園に鬼がやってきた！

毎年恒例の「豆まき」。

年長さんは、鬼になるのがとっても楽しみ。時間をかけて作った手作りお面をかぶって、そっと年中さんのお部屋をのぞき、びっくりさせるのが、また楽しい。中には、新聞紙の豆を山盛り作り、投げては拾い、投げては拾っている子、怖くて怖くてたまらず隅っこの方に隠れる子、桃太郎も出てきて鬼退治に向かったり、園内は大騒ぎです。

節分の日には、どこからか大きな鬼がやってきて大暴れ。必死に逃げ回ったり、果敢に向かっていったり、友達を助けようとくらいついたり、いろいろな子ども達の姿があります。最後には、子ども達の大きな声と勇気に圧倒されて鬼も退散していきました。

子ども達のおなかの中には、泣きき虫鬼、怒りんぼ鬼、寝ぼすけ鬼、好き嫌い鬼などなど、いろいろな鬼がいるようです。

自分の鬼は自分が一番よく知っているみたい。福の神に頂いた「福豆」を食べ、しっかり鬼退治を済ませました。

～1人でどこまで行ける？～

絵本「エルマーの冒険」の読み聞かせをワクワク楽しみにしている子ども達。エルマーが1人で冒険に出かけるお話を聞きながら…

○○くん「1人で行けるってすごいよね！」
先　　生「みんなは1人で行ける？」
○○ちゃん「あたしは、無理無理！」
△△くん「1人でなんか、行けないよ～」
□□くん「ぼくは、1人で行けるのはね、セブンと、ローソンと、イオンと…」
先　　生「…」

第四小学校

和合の里

こうなってほしちゃ

―― 6年生のみんなが願う『和合の里』の未来像 ――

加藤陽登（はると）

みんなが、仲が良くて、安全で、自然がとても豊かで、みんなが、あこがれるような町になってほしい。

日下部瑞希（みずき）

私は、何年になっても米作りがさかんで、きれいなふるさとのままでいてほしいと思っています。

乙坂祐也（ゆうや）

ぼくは、地域で明るいあいさつをして地域を明るくしていきたいです。

みんな元気いっぱいな地域にしていきたいです。

樋渡花南（はな）

私は、和合がみどりがいっぱいで、人々とふれ合える和合に生まれてよかったと思います。

堀井将人（まさと）

和合の里は、いじめがなく、みんなが明るくあいさつをできる地域なので、将来もこの地域のいい所をずっと続けていきたいです。

渡部陸（りく）

自然がいっぱいで笑顔もいっぱい、それに元気もいっぱいのこんな和合になってほしいです。

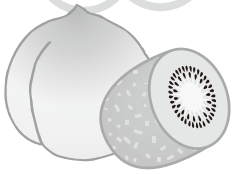
健康レシピ

簡単おやつ フルーツきんとん

◎材料（6人分）

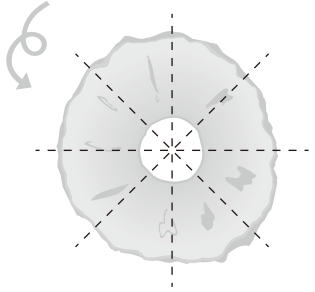
さつまいも…１本
パイン缶……１缶
（小さい缶）
干し柿……２～３ケ
塩……少々

黄桃の缶詰や
キウイなどを
入れると彩りも
よくなりますよ‼



◎作り方

①さつまいもは、蒸して柔らかくなったらつぶす。
干し柿は、１㎝角に切る。
パイン缶は、汁をきって８等分にする。



②①の材料と塩を混ぜ合わせパイン缶の汁で柔らかさを調整する。

日本が誇る伝統的な冬のドライスイーツ

☆ 干し柿メモ

もともと柿は栄養価に優れた果物ですが干し柿にすることでビタミンＡが生柿の３倍に！また、カリウムも多く含まれています。

ビタミンＡの抗酸化作用：風邪予防
カリウムの利尿作用：むくみ解消
二日酔い

「料理サプリニュース」より

和合の交番

冬は危険がいっぱい

雪害事故に注意！

＜雪下ろし時＞
動きやすい服装で、命綱、ヘルメットを着用しはしごはしっかり固定しましょう。

＜除雪機による作業時＞
回転部に雪が詰まった場合には、必ずエンジンを切り、回転部が停止したことを確認してから棒などで取り除きましょう。

＜屋根からの落雪＞
屋根から落ちるツララや雪塊に注意し、除去する際は安全な方法で作業しましょう。

冬道の安全５則

1．スピードは、夏場より 10 ㌔ 以上減速する。
2．車間距離は、路面乾燥時の２倍以上。
3．急加速・急ブレーキ・急ハンドルなど急激な操作を避ける。
4．視界不良時は前方をよく見て、早めに徐行する。
5．危険がいっぱい。追い越しはしない。

冬は、雪の影響により様々な事故が想定されます。
しっかりと安全対策を行い、事故防止に努めましょう。

みんなで敬礼!!
（酒田海上保安部にて）

もしえっけの（平成26年度

おやこ元気塾

■おやこ元気じゅくで一番楽しかったのは、バレンタインチョコ作りとジェルキャンドル作り。マシュマロにチョコをつけてきれいにかざりつけをしたり、コーンフレークにもチョコをつけて、お家で食べました。ジェルキャンドル作りは、きれいにできました。色がカラフルな砂やかわいいビーズをかざったりして、とても楽しかったです。大事にかざりたいと思います。いろんな事ができて、とても楽しい一年で良かったです。４年生になったら、Jr.カレッジにも参加したいです。

［3年 齋藤星空（そら）さん（吉方）］

■長女の頃から参加している。全て参加とはなかなかいかないが、毎回楽しい企画に子供以上に張り切り、楽しんで参加していた。今年度の企画で酒田海上保安部へ行き、仕事の説明を聞いたり、灯台の中を見学したり…。家庭では決して行くことのできない場所へ行かせていただき、本当にいい経験ができた。子供も笑顔で「おもしろかった！」と、毎回話してくれるし、「次はどんなことをするんだろう。」と、とても楽しみにしていた。第四公民館の職員の方々に大変お世話になり、また、このようなさまざまな体験をさせていただき、本当に感謝しております。ありがとうございました。

［母：かおるさん］

町民大学歴史民俗学部

町民大学「歴史民俗学部」山形民俗紀行Ⅲに参加させていただき興味深く貴重な時間をいただいたことにあらためてお礼を申し上げます。

日常の中で朝、神さまに柏手で拝み、仏さまに手を合わせ唱えあたりまえのように毎日行っておりましたが、その訳には深いふかい信仰心のつながりがあることを渡部先生（第1回学習会の講師）の教えをいただきました。

風土の源泉、地域の文化、自然歴史、信仰、史跡、逸話、風習など、中に見え隠れしている歴史の積み重ねの数々、郷土愛と望郷の想いを探究された貴重な体験を聞き、感動した研修でありました。

中でも杉沢比山は、むずかしい踊りを全曲舞いこなすには数年の歳月を費やしたと言われているが、地域での伝統芸能の継承に携わる多くの人々の苦労が多いと思いますが長く受け継がれることを願いたいものです。

今回の歴史民俗学部に参加して地域文化の保守・向上をいかに大切に継承することが重要であり後世につなげていくことを学ばせていただきました。

一人では歴史を訪ねるのは困難であり、大変よい企画をされました髙橋館長さんはじめ職員の皆さんに感謝と、一緒に行動を共にした皆さんにお礼を申し上げ、ぜひ次回も楽しみにしております。

［齋藤君夫さん（南野）］

杉沢比山の事前学習
（語り部の館にて）

まだ、かだっでの～！

公民館事業参加者の声）

あやとり遊び
（第四幼稚園訪問）

和合大学院

菅原寅雄さん
（沢新田）

和合大学院の諸講師並びに館長はじめ職員の皆様方に大変お世話になり、おもしろく楽しい一年でありました。

５月の始業式と旧風間家（丙申堂・釈迦堂）庄内一の文化財見学でした。６月は四小児童とのグラウンドゴルフ大会。孫との遊び真剣勝負でおもしろかった。

７月は、羽黒での葉書作り。薄日射す中、四苦八苦しながら２～３枚作り乾かすのに手間取ったことが思い出であります。８月は「玉簾の滝」自然探訪。運動不足解消になりました。９月は、十六合揚水機場にて泥んこ遊び“ざっこしめ”。昔に返った思いでありました。10月は、新潟県の自衛隊基地見学。すばらしい所でした。11月は第四幼稚園を訪問し、昔遊んだコマ回しやおはじき・あやとりなどして園児との交流を楽しみました。12月は修了式とお楽しみ会で最終回を終えました。

ひまわりっ子広場

幼稚園に入ったら一緒に過ごしていくお友達と、少しでも慣れさせたいと思い、ひまわりっ子に参加させていただきました。上の子供達もひまわりっ子に参加したのですが今年は６人だけという少ない人数に初めは驚きました。でもすぐにお友達の名前も覚え、「○○くん、ひまわりっ子に来るかな～」と、毎月ひまわりっ子のお友達に会えるのを楽しみにしていました。　普段は保育園に行っているので、親子で一緒に活動ができるひまわりっ子は、私にとっても貴重な時間でした。親子で楽しく過ごすことができ感謝しております。お世話になった皆様、ありがとうございました。

齋藤葵羅（きら）くん
母:沙和子さん
（連枝）

Jr.カレッジWAGO!!

■私は、2年間カレッジWAGOに参加しました。特に印象に残ったのは、門松を作ったことです。一人暮しのおじいちゃんやおばあちゃんに届けて、喜んでもらえたことがうれしかったです。

門松は、ふだん作ることがないので、むずかしかったですが、2年目は上手にできました。

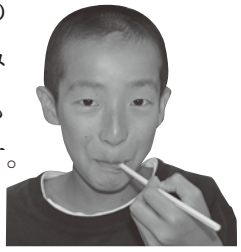
この2年間、カレッジWAGOで学んだことをこれからの生活に生かしたいです。

とても楽しかったです。ありがとうございました。

［6年 大沼未奈（みな）さん（廻館）］

■カレッジに参加して思ったことは、仲間と協力したり学校生活で体験できなかったことが体験できました。今後の生活に生かしたいです。

中学生になったらジュニアスタッフに入るか分からないのですが部活が忙しくなかったら入ろうと思います。今年はとても楽しかったです。四公の人や推進員のみなさんにとても感謝したいです。



［6年 富樫啓吾（けいご）くん（本小野方）］

地域インフォメーション!!

みなさんの功績に拍手

～たくさんの方が受賞しました～

平成26年度 庄内町総合表彰式

1月7日に響ホールで行われ、それぞれの分野で功績のあった方々に表彰状が贈られた。

第四学区からの受賞者は次の通り。

坂野　　茂（廻館）
渡部　隆信（吉方）
齋藤　真希（南野）

平成26年度 庄内町体育協会表彰式

1月11日、狩川公民館を会場に開催された。今年度も多くの方々が活躍され受賞。今後の更なる活躍に期待します。第四学区からの受賞者は次の通り。

功労賞　横山　　修（沢新田）
勲功賞　齋藤　真希（南　野）余中 2年
栄光賞

【陸　上】

余中陸上部　森居　綾子（沢新田）3年
齋藤　真希（南　野）2年
工藤　愛織（古　関）2年
阿部　花奈（沢新田）2年

【バレーボール】

長南あゆみ（沢新田）宮城県尚絅（しょうけい）学院大学 3年

【野　球】

斎藤　紘圭（吉　方）酒田南高等学校 3年

[右上写真]

【バスケットボール】

佐藤　夢衣（南野）山形商業高等学校 3年
佐藤　美羽（南野）山形商業高等学校 1年
國井　美砂（返吉）鶴岡信用金庫

【ソフトテニス】

坂　　理子（廻館）余中3年
上野　海蘭（吉方）余中3年
川井日南子（古関）酒田南高等学校 2年
渡部　梨花（吉方）羽黒高等学校 1年

【卓　球】

加藤　光咲（主殿新田）余四小 1年
横山　和子（沢 新 田）ウイング庄内
加藤　伸幸（主殿新田）余目クラブ

【剣　道】

北川　小春（西袋）酒田光陵高等学校 2年
齋藤眞紀子（西袋）庄内農業高等学校 2年

【柔　道】

立川柔道スポーツ少年団
髙橋　晴人（連枝）余四小 6年
梅原　叶大（連枝）余四小 6年

【登　山】

太田　侑奈（廻館）酒田東高等学校 2年

編集後記

第５回全国公民館報コンクールにおいて地域情報誌「和合」が、前回の最優秀賞に続き優良賞を受賞することができました。これも原稿を寄せていただいた皆様をはじめとする地域のご協力あってのものと痛感しました。

この受賞を励みに、今後も顔の見える“おらほの情報誌”として関心をもって手にしていただけるような「和合」づくりに心がけていきたいと思います。さらなる皆様のご協力をお願いいたします。

皆さんのおかげさまで
優良賞受賞！

No.103　2015.2.20 発行
編集発行　庄内町余目第四公民館　和合地域づくり会議　TEL 44－2162　E-mail koumin-4@town.shonai.yamagata.jp　印刷　富士印刷株式会社